

令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 高積 中学校
校長氏名	太田 英一郎
作成日	令和 5 年 2 月 28 日

1 教育目標

学校教育目標「心豊かで、たくましい生徒の育成」 自ら学ぶ(自主)生徒 自ら考えて正しく行動する(内省)生徒 心身ともに鍛える(鍛錬)生徒 実践目標 ①時間を大切にしている生徒 ②物を大切にしている(校内を美しくする)生徒 ③挨拶をする生徒 ④きまりを守る生徒 ⑤人を大切にしている(仲良く助け合う)生徒 の育成
--

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともに
指標	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査で県平均を上回る めあてと振り返りを必ず授業で行う 家庭学習の時間を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいと感じる 特別な教科道徳の実践 いじめの発生件数 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ごはんを食べた 運動部活動の加入率 避難訓練、交通安全指導を計画し実施した 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子が 中学校区でのを具体的に実践
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> 学力課題を明確にし指導方法の工夫改善のための研修を深める 家庭学習習慣の育成に努める キャリア教育を通し、主体的に将来の生き方を考え、進路選択ができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和および道徳教育を推進し、人権意識を高める 教師と生徒、生徒同士の人間関係作りに努める 生徒指導方針に則り、組織的かつきめ細かい生徒指導に心掛け、体制の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上を推進する 基本的生活習慣の確立をする 危機回避能力の育成をする 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域との 中学校区における 地域の教育資源を推進する
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> 学びあいの授業づくりに努める 授業の工夫、補充学習、家庭学習(質及び量の充実)をセットにした指導を推進する 和歌山の授業づくり3ヶ条を徹底させた授業を行う 職業調べ、キャリア教育にかかわる学習を丁寧に行い、自身の進路を考える機会をもった 	<ul style="list-style-type: none"> 人権同和学習に組織的・計画的に取り組む。さらに、特別な教科道徳の教科書にそって授業を行う。また、希望のかけはし等も活用する 教職員全員が協力し、あらゆる活動の場で、生徒指導理解に努め、方針に則った組織的かつきめ細かい指導を実践する 定期的にあいさつ運動を実施し、学年を問わず交流する 	<ul style="list-style-type: none"> 運動部活動を通して、体力強化になることを推奨していく。また、昼休憩は積極的にグラウンドに出て身体を動かすように働きかける 早寝、早起き、朝ごはんを推奨する 避難訓練や交通安全指導を計画的に行い、危機回避能力を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> 各種便り、HP等に学校の情報を 中学校区での小の連携を推進 授業のゲスト講師等の人材・文化を積極的に 地域に図書ボラ活動を図る
取組の成果と課題(評価結果)【C】	<ul style="list-style-type: none"> テスト発表期間中に質問日設けて補充学習の拡充に取り組めた 県学習到達度調査については1年英語と2年数学以外は県平均を下回ったが、その差は小さくなってきている 今年度の授業形態は、グループ学習を進めていく方法をとり、かつ部分的にICTの活用を進めた 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉遣いや他者への接し方に課題のある生徒がまだ目立つ 方針の周知は徹底し行う。諸問題に対しては、組織的な対応を心がけ、その強化は生徒指導主任と学年生指を中心に進めることができた あいさつ運動については、保護者や生徒会の協力を得て続いている 	<ul style="list-style-type: none"> 昼休憩にボールを貸し出し、身体を動かす生徒が多い 早寝、早起き、朝ごはんを守れず、特に朝ごはんを食べずに登校する生徒がいる 自転車の乗り方やマナーの苦情を地域からいただいている 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年が学年だよ学校の様子を随時 学校開放期間中に人が来校された 学校運営協議会のは大変有益で具体的にいただくことができ関わり方を参考にしようしていきたい
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> 今後も様々な取組を組み合わせ組織的に行っていく ICT等を活用して授業の工夫改善とオンライン授業の研究 学びあいの授業づくりに関する校内授業研究の実施 宿題の工夫による家庭学習習慣の育成 補充学習の拡充 朝の読書の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も本校は生徒指導が最重要課題である。今年度末までに見えてきた諸課題、不十分であった点に対して、次年度早々の改善に向けて取り組むとともに、まだ課題として見えていない学年、新入生に対しても、長期的展望のもと、戦略的に初期の段階から取り組む 校則等の見直しに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 体力・運動能力テストについては、与えられた課題に向かって持っている力が十分発揮できるよう体育科の教員を中心に指導を続けていく 早寝、早起き、朝ごはんと学力の関係が密接な関係があることをさらに伝えていく 交通安全指導の徹底及び避難訓練の大切さを理解させる 	<ul style="list-style-type: none"> 今以上に情報発信に、また、保護者でいく内容も検討 土曜授業等を実施方には、本校の耳子に対してさらにたたき、来校しやる 地域との関わり 地域の中の学

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> アンケートについて、全体的に肯定的な回答が多いように思われ、生徒は学習に取り組む姿勢は向上 生徒アンケートより「各教科の授業内容はほぼ理解している」が75%となっているが、80%以上にした答の原因が「家庭学習の不足」が一番多いので、宿題の出し方(PC活用)等を改善していく必要がある。

--

にある学校

よく伝わった
連携した取組
できた

連携を充実させ

・小・中の連携

・県や人材活用を

県を通して積極的
発信する

・小、小中、中高

・充実する

・インターチャーター、クラ
ブや、地域の自然・

・活用する

・ボランティアを募り、

・パンフレットを発行し、HPは
公開した

・県は保護者や地域

・の委員の方々から

・的感想や意見を

・を。特に地域との

・、積極的に行える

・発信できるよう

・とともに取り組ん

・でしていく

・実施し、保護者の

・ネットワーク、生徒の様

・関心を持ってい

・すい工夫を重ね

・を積極的に行う

・意識する

・している。

・い。否定的回

--